

作文コンテストで優秀賞



第62回社会を明るくする運動「福島県作文コンテスト」で、美山小学校6年の小石沢千夏さんが優秀賞を受賞しました。

作文タイトルは「地域の行事で明るい社会を」。美山地区の3つの伝統行事、子どもみこしと盆踊り、子ども会行事について、体験した様子や思い、社会を良くするための考えなどが、丁寧に素直につづられています。

伝達式は1月9日、美山小学校で行われ、田村地区保護司会田村支部長の佐久間勲さんから表彰状と記念品が手渡されました。式には、保護司会の橋本正勝さん、大舟木校長、担任の橋本教諭が立ち会いました。

世界のグルメ・文化・音楽に触れる

市国際交流協会事業「ハートtoハートin田村」が12月16日に大越公民館で開かれ、約160人が参加しました。今年のテーマは「遊びと料理を楽しみながら世界を知ろう！」。

地元のおいしい食材のほか、いろいろな国の方が故郷の料理を持ち寄りしました。参加者は食の交流を堪能したほか、インドネシアジャンケンや日本語教室で学ぶ方からの各国クイズ、韓国語での絵本の読み聞かせ、大越小児童による「大越キッズバンド」の演奏などを楽しみました。最後は、全員でチキンダンスを踊り、笑顔で交流を深めました。



手作りのクリスマス料理に挑戦



滝根公民館の第3回生涯学習セミナーが12月15日、滝根保健センターで開かれました。

料理を作る楽しさを学ぶセミナーには、24人の小学生が参加。クリスマスパーティー料理に挑戦しました。星形のハムやリンゴをきれいに飾りつけたポテトサラダ、ローストチキン、炊飯器を使い簡単にできるクリスマスケーキなど5品を完成させ、おいしくいただきました。料理の合間には、滝根おはなし会つくしんぼの皆さんから、クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせのプレゼントもあり、楽しい時間を過ごしました。

観光事業の推進・PRに期待



市の観光資源などを応援していただく田村市夢大使のまちづくり懇談会が11月26日、東京の中野サンプラザで開かれ、活発な意見交換が行われました。出席した大使は次のとおりです。(敬称略、順不同) ●遠藤隼人(ふるさと滝根会会長) ●橋本逸男(日本ラオス協会会長) ●井上あずみ(歌手) ●吉野ヨシ子(彫刻家) ●志田修(東京ふねひき会会長) ●柳家小糸(落語家) ●根本利英(ふるさとのおおごえ会顧問) ●白岩常志(ふるさと常葉会会長) ●渡邊晃(ふるさと都路会会長) ●小川もこ(DJ、パーソナリティ) ●南礼子(歌手)

大田ふれあいフェスタでPR

田村市・三春町・小野町商工会女性部と(株)まちづくりふねひきが11月3日・4日、大田区の平和の森公園で大田ふれあいフェスタに出店しました。滝根町の郷土料理「まんがこ汁」を振る舞うなど、農産物の安全性をPRしました。また、東京在住のふるさと会会長・役員、夢大使の皆さんにも協力いただき、観光PRも行われました。あぶくま太鼓「紅組」は躍動感ある力強い演奏を披露し、来場者を魅了しました。



高校駅伝の出場選手を激励



全国高校駅伝大会に出場する田村高校チームの橋本愛里選手(3年)、梅津麗菜選手(3年)、猪狩美咲選手(1年)に12月19日、富塚市長から激励金と激励の言葉が送られました。佐藤修一監督には激励金と「あぶくまの天然水500ml」120本が手渡されました。3選手はそれぞれ「都大路でチームに貢献したい」など大会に向けた抱負を語りました。

大会は12月23日に開かれ、田村高校は11位と健闘しました。